

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和06年01月10日

計画の名称	宮島口地区街なみ環境整備事業（第2期）													
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）												重点配分対象の該当	
交付対象	廿日市市													
計画の目標	世界遺産厳島神社を有する宮島の玄関口である宮島口地区において、うるおいと落ち着きのある「和」をイメージした修景など、宮島観光の高揚感を醸成できる景観づくりを行い、世界の人々を迎えるにふさわしく、快適性と賑わいを両立させた空間を創出する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		363	A	358	B	0	C	5	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）	1.37	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和6年	-	令和10年
1	・宮島の閑散期（1・2・6・7・12月の5ヶ月）の観光客数の増加 宮島の観光客数調査データをもとに算出する。（廿日市市観光振興基本計画、宮島口まちづくり整備計画と整合）			
		167万人	万人	170万人
2	・道路美装化を行い景観の向上と周辺施設への誘導を図る。（整備総面積 A=3,200m2） 美装化事業の実施状況をもとに算出する。 （整備率）＝（整備面積）／（整備事業総面積）（％）			
		38%	%	100%
3	・無電柱化を行い景観の向上と周辺施設への誘導を図る。（整備総延長 L=440m） 無電柱化事業の実施状況をもとに算出する。 （整備率）＝（整備延長）／（整備事業総延長）（％）			
		0%	%	100%
4	・既存不適格看板の修景（物件数 N=25） 看板修景事業の実施状況をもとに算出する。 （整備率）＝（整備実施物件数）／（既存不適格物件数）（％）			
		36%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	廿日市市	間接	個人	-	-	宮島口地区街なみ環境整備事業	住宅、商店などの修景補助	宮島口地区	■	■	■			9	1.37	-
	A16-002	住宅	一般	廿日市市	直接	市	-	-	宮島口地区街なみ環境整備事業	道路の美装化	宮島口地区			■	■	■	69	1.37	-
	A16-003	住宅	一般	廿日市市	直接	市	-	-	宮島口地区街なみ環境整備事業	道路の無電柱化	宮島口地区	■	■	■	■	■	280	1.37	-
											小計						358		
											合計						358		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	廿日市市	直接	地元団体	-	-	宮島口地区街なみ環境整備事業	まちづくり（景観）の啓発	宮島口地区	■	■	■			5	1.37	-
		まちづくり（景観）に関する地域の活動を助成し、地元や事業者の景観形成に対する意識が向上することで、住宅事業（A16-001）の更なる推進が図られる。																	
											小計						5		
											合計						5		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06	R07			
配分額 (a)	1	1			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	1	1			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	1	1			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					